



大平洋金属株式会社
2016年3月期 期末決算説明会

2016年5月18日

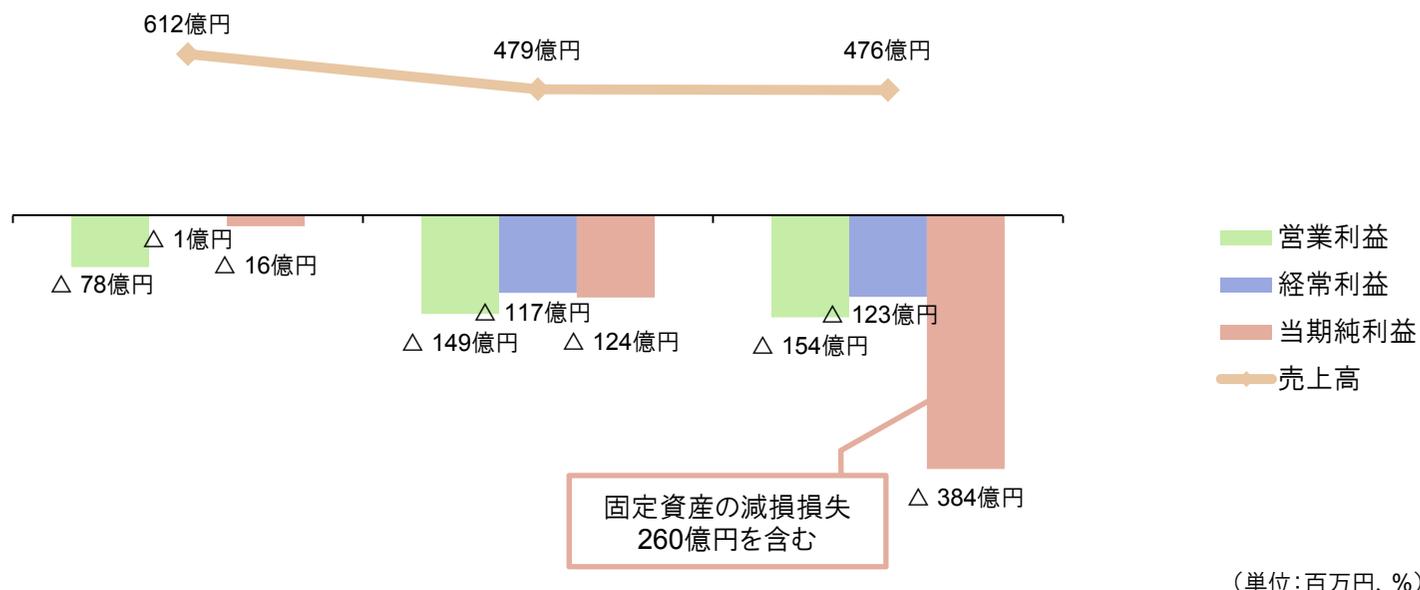
お問い合わせ先：総務部(IR担当) 03-3201-6681

ホームページ：<http://www.pacific-metals.co.jp>

I. 16.3期 決算実績	
1. 概要	4
2. ニッケル事業実績	5
3. 国別販売実績	6
4. 連結経常損益分析	7
II. 前中期経営計画 PAMCO-27の振り返り	
1. 当社を取り巻く環境の変化	9
2. 重点目標と活動結果	10
3. 3カ年値比較(計画対実績)	11
III. 長期ビジョン	
1. 当社の持つ強み	13
2. 長期ビジョンとテーマ	14
3. 各テーマの詳細	15
IV. 新中期経営計画 PAMCO-30	
1. 位置づけとステップ	18
2. 重点施策	19
3. 前提となるステンレス生産・ニッケル需給見通し	20
4. 概要	21
5. 生産・国別販売見通し	22
6. 経常損益分析	23
7. 財務体質見通し	25
8. 投資計画(3カ年合計)	26
9. 鉱石調達計画	27

I 16.3期 決算実績

1. 概要



(単位:百万円、%)

	15.3期実績		16.3期予想 (2/5発表)		16.3期実績		対 前期比	対 2/5発表 予想比
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	61,225	—	47,936	—	47,649	—	△22.2	△0.6
営業利益	△7,788	△12.7	△14,876	△31.0	△15,358	△32.2	—	—
経常利益	△92	△0.2	△11,741	△24.5	△12,284	△25.8	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△1,612	△2.6	△12,394	△25.9	△38,370	△80.5	—	—
(投資額)	4,282	—	—	—	1,086	—	△74.6	—
(減価償却費)	6,160	—	—	—	5,538	—	△10.1	—

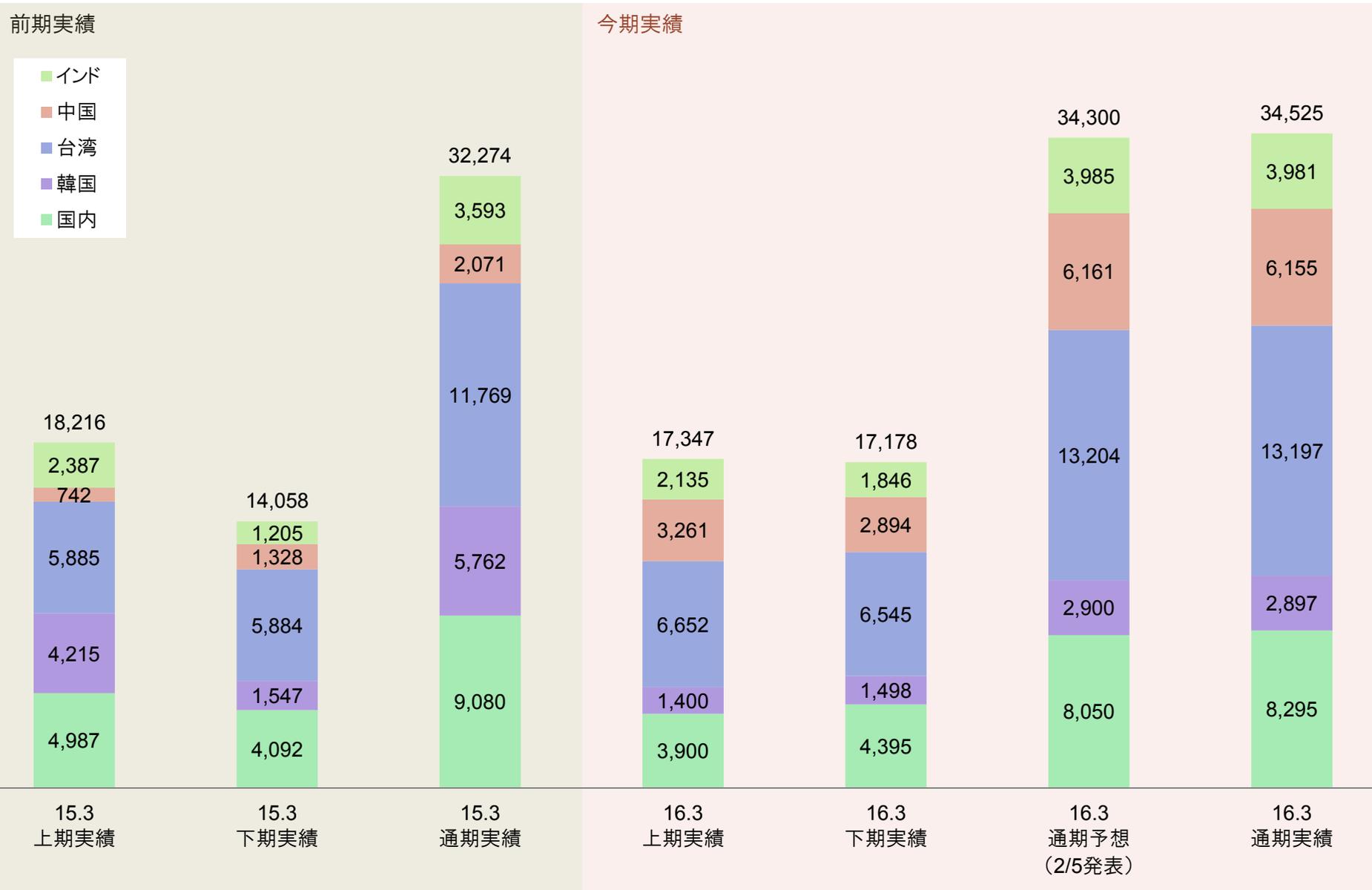
2. ニッケル事業実績



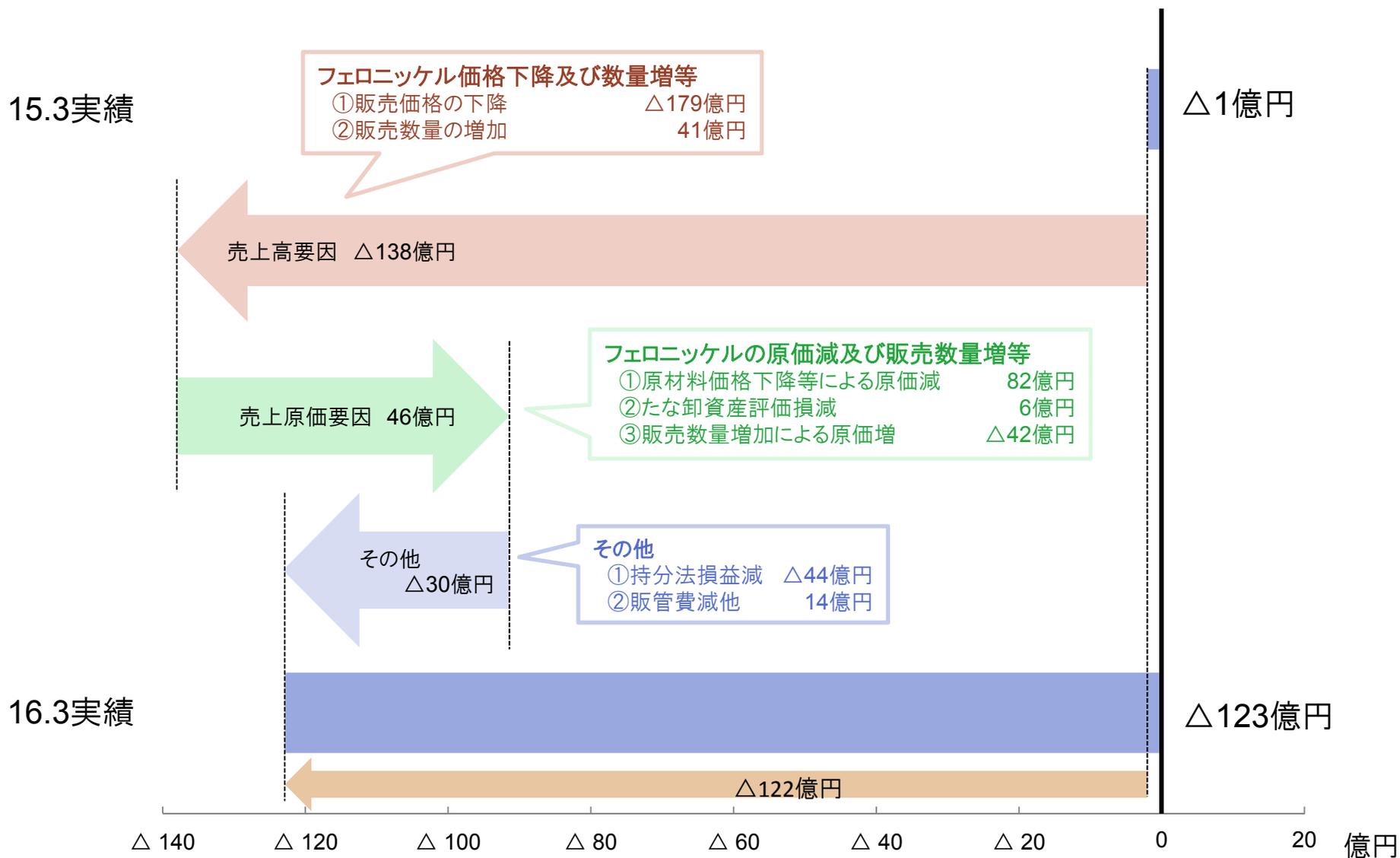
	15.3期実績	16.3期予想 (2/5発表)	16.3期実績	対前期比 (単位:%)	対2/5発表予想比 (単位:%)
生産数量(Niトン)	29,650	36,872	36,692	23.8	△0.5
販売数量(Niトン)	32,274	34,300	34,525	7.0	0.7
適用LME(\$ / トン)	16,954	10,847	10,803	△36.3	△0.4
[適用LME(\$ / lb.)]	[7.69]	[4.92]	[4.90]	△36.3	△0.4
適用為替(¥ / \$)	107.73	120.72	119.97	11.4	△0.6

3. 国別販売実績

(単位: Niトン)



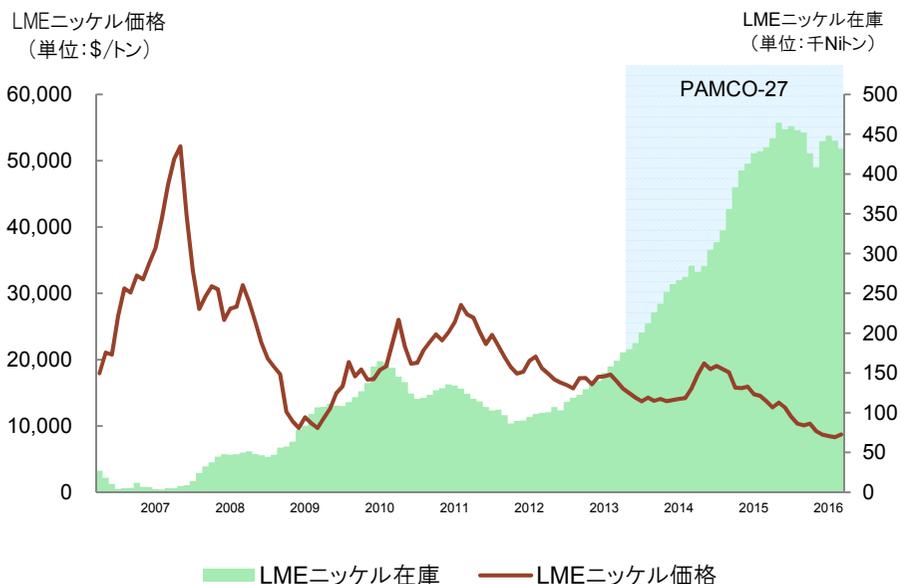
4. 連結経常損益分析



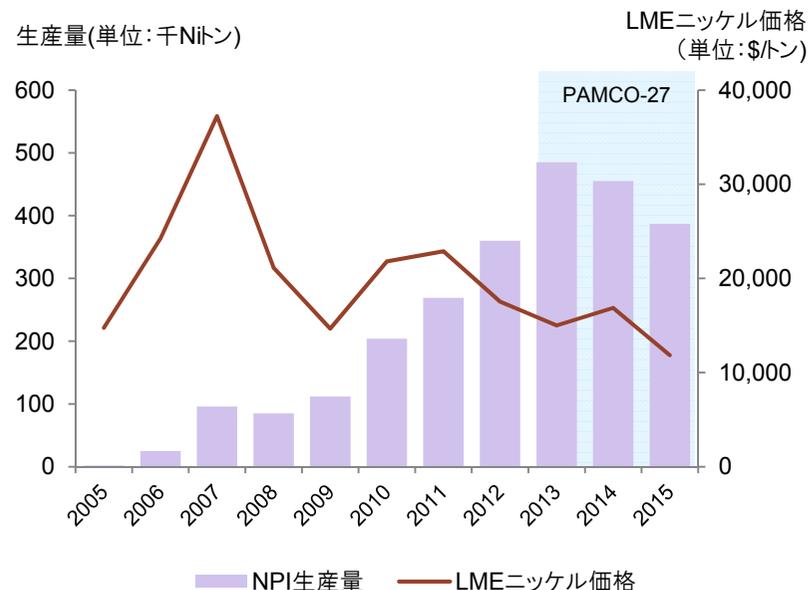
Ⅱ 前中期経営計画 PAMCO-27の振り返り

1. 当社を取り巻く環境の変化

LMEニッケル価格・在庫



中国NPI生産の動向



- ・2014年1月インドネシア鉱石禁輸により価格は一時上昇
- ・その後、中国経済の急減速と世界的資源安により下落
- ・ニッケル価格は依然低迷状態が続き、先行き不透明

- ・中国NPI生産者の台頭と急伸でマーケット環境激変
- ・インドネシア鉱石禁輸に伴い、フィリピン産の鉱石価格は暴騰し、高止まり傾向が継続

LMEニッケル価格の歴史的水準での低迷や、鉱石調達価格の高騰等、
PAMCO-27期間中 当社を取り巻く環境は急変

2. 重点目標と活動結果

※ : 達成事項 : 未達事項

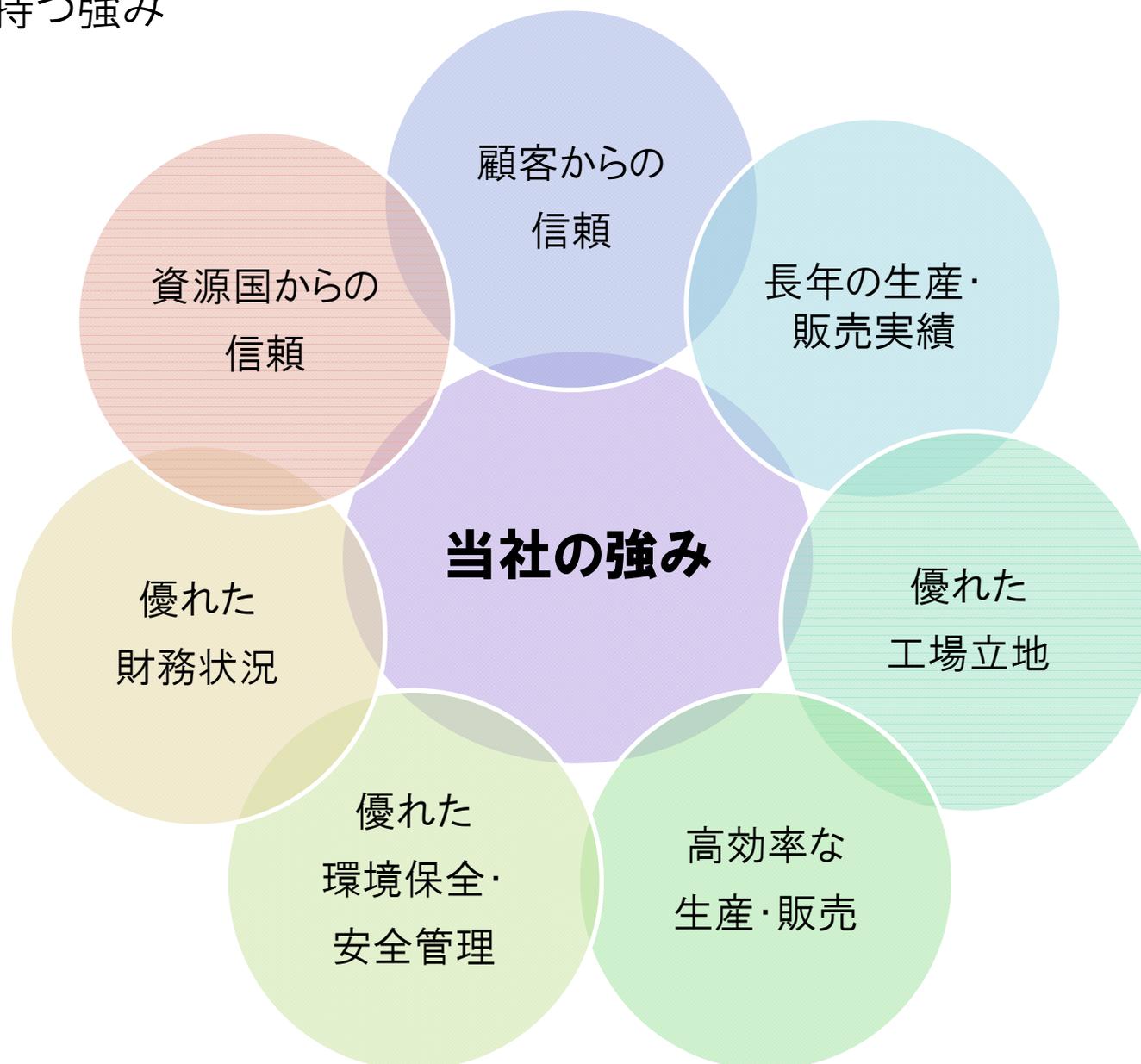
PAMCO-27策定時の重点目標	活動結果
ニッケル資源調達 の長期安定化	<ul style="list-style-type: none"> ・既存鉱山会社との関係継続、増量対応 ・新規鉱山会社と長期買鉱契約締結
販売取引先との連携強化及び販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・既存取引先の顧客満足を追求、信頼関係継続
設備投資及び生産・操業効率の向上と安定化、環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事業環境の悪化及びニッケル鉱石事情急変による操業対応等、数量増に影響、販路拡大は大きな進捗なし
設備投資及び生産・操業効率の向上と安定化、環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ・操業改善は進めているものの、ニッケル鉱石事情急変による操業対応等、数量安定化は未達成 ・環境基準を厳守、環境報告書の発行を継続
安全衛生対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・IMS統合による安全衛生施策強化
コンプライアンス、内部統制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレートガバナンス・コード等の情報開示等、目標を明確化

3. 3カ年値比較(計画対実績)

	PAMCO-27 3カ年計画(合計)	PAMCO-27 3カ年実績(合計)	比較	増減理由
生産数量(Niトン)	116,041	104,873	△11,168	【売上高減少主要因】 ・適用LMEニッケル価格の大幅な下落 ・電気炉改修日程遅延のための数量減 【原価高主要因】 ・ニッケル鉱石価格急騰・高止まり ・エネルギー価格上昇 【その他】 ・固定資産減損損失の計上(26,038百万円) これら主要因が大きく影響 計画3カ年利益見込むも、大幅な損失
販売数量(Niトン)	114,185	104,600	△9,585	
適用LME(\$ / lb.)	8.73	6.35	△2.37	
適用為替(¥ / \$)	89.40	108.77	19.37	
売上高(百万円)	205,901	165,282	△40,619	
営業損益(百万円)	11,139	△27,224	△38,363	
経常損益(百万円)	16,801	△14,213	△31,014	
当期損益(百万円)	13,106	△46,130	△59,236	
投資等(百万円)	24,497	6,694	△17,803	
減価償却費(百万円)	20,389	18,947	△1,442	

Ⅲ 長期ビジョン

1. 当社の持つ強み



2. 長期ビジョンとテーマ

テーマ1

収益力

テーマ2

生産・販売力

<長期ビジョン>

**総合力世界トップクラスの
フェロニッケルメーカーを目指す**

(「総合力」とは各テーマすべてに世界トップクラスの優位性を持つこと)

テーマ3

技術力

テーマ4

品質

3. 各テーマの詳細①

テーマ1 収益力

・国際競争力のある価格での利益の確保

- 基本方策
- ①あらゆる角度からの**ミニマムコスト**の実現
 - ②更なる付加価値の向上

・収益基盤の強化

- 基本方策
- ①**海外展開**を視野に入れた事業の拡大
 - ②新規事業の開発

テーマ2 生産・販売力

・世界トップクラスの生産・販売量の維持・拡大

- 基本方策
- ①八戸製造所での**生産パフォーマンスの最大化**
 - ②**資源国との連携強化**における鉱石の安定調達と製造設備の改善
 - ③**海外製錬事業**への展開

3. 各テーマの詳細②

テーマ3 技術力

・環境に配慮した、世界トップクラスの高効率、低コストの製錬技術の確立

- 基本方策
- ①生産設備の効率性と生産技術の向上の不断の追及
 - ②そのための人財育成と組織の強化

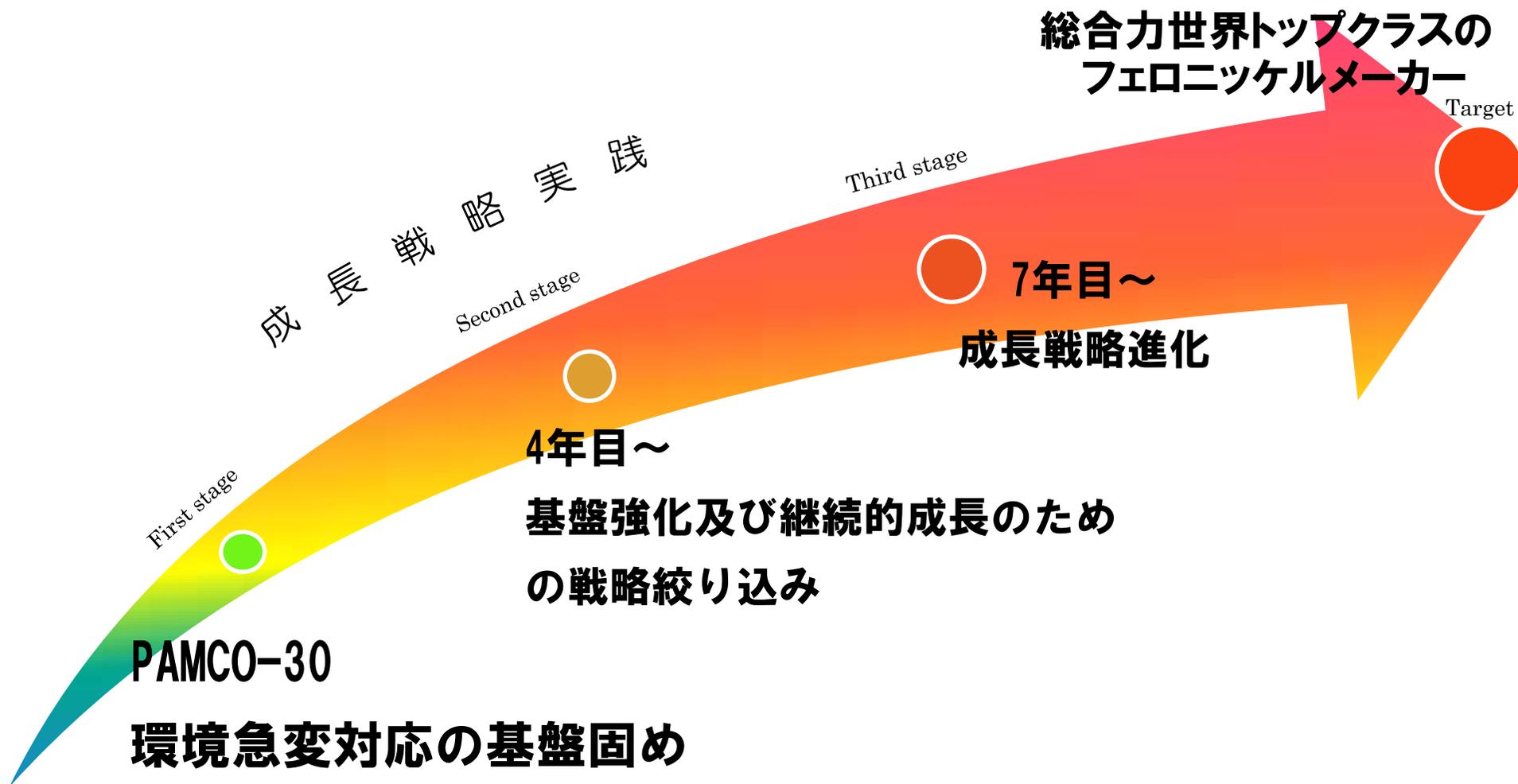
テーマ4 品質

・顧客要望への真摯かつ柔軟な取り組みによる高い顧客満足度の達成

- 基本方策
- ①顧客が要望する納期、品質、数量、サービスの速やかな提供
 - ②新たな価値の創出による社会への貢献

IV 新中期経営計画 PAMCO-30

1. 位置づけとステップ



2. 重点施策

PAMCO-30の重点施策	主な活動内容
フェロニッケルの生産・販売施策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸製造所を最大限稼働し生産 ・既存取引先との長期契約を見据え、さらには拡販の道筋を追求
ニッケル資源調達安定化	<ul style="list-style-type: none"> ・資源国との連携強化によるニッケル鉱石の長期安定調達 ・湿式製錬事業への方向性を追求
収益性の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率の製錬技術の開発を含めたあらゆる角度からのコストダウン ・将来の収益基盤強化のための新規事業の創出
技術力・現場力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成のための階層別教育プログラムの構築
環境対策及び労働安全衛生対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保護対策のさらなる強化 ・安全風土の醸成による安全意識の高揚を図る
コンプライアンス、ガバナンス体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・内部統制システムの充実によるコンプライアンスの強化 ・コーポレートガバナンス・コードに準拠したガバナンス体制の強化

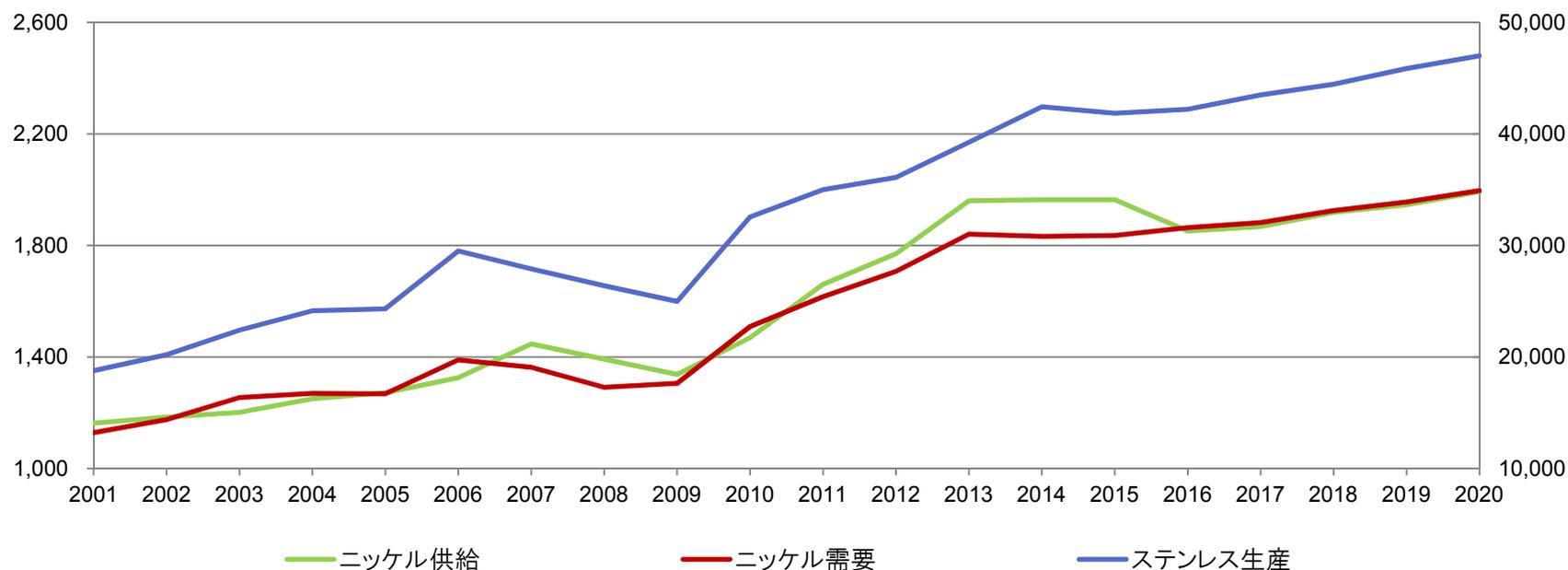
3. 前提となるステンレス生産・ニッケル需給見通し

※当社調べ

ステンレス生産・ニッケル需給

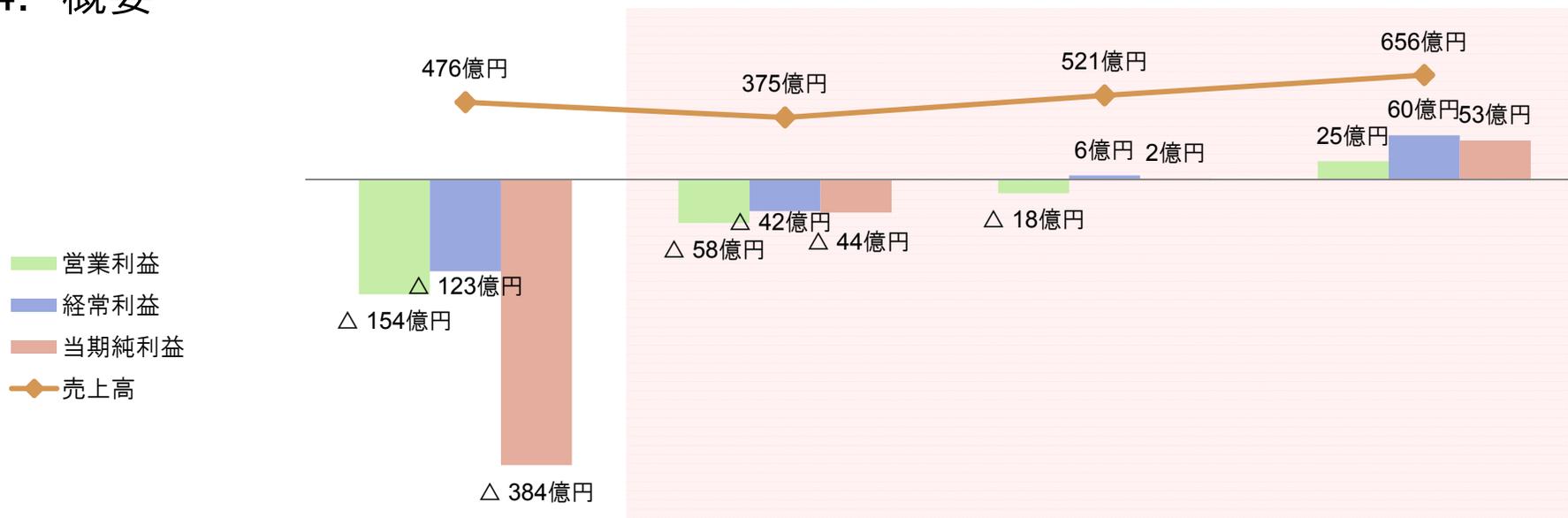
ニッケル需給(単位:千Niトン)

ステンレス生産(単位:千トン)



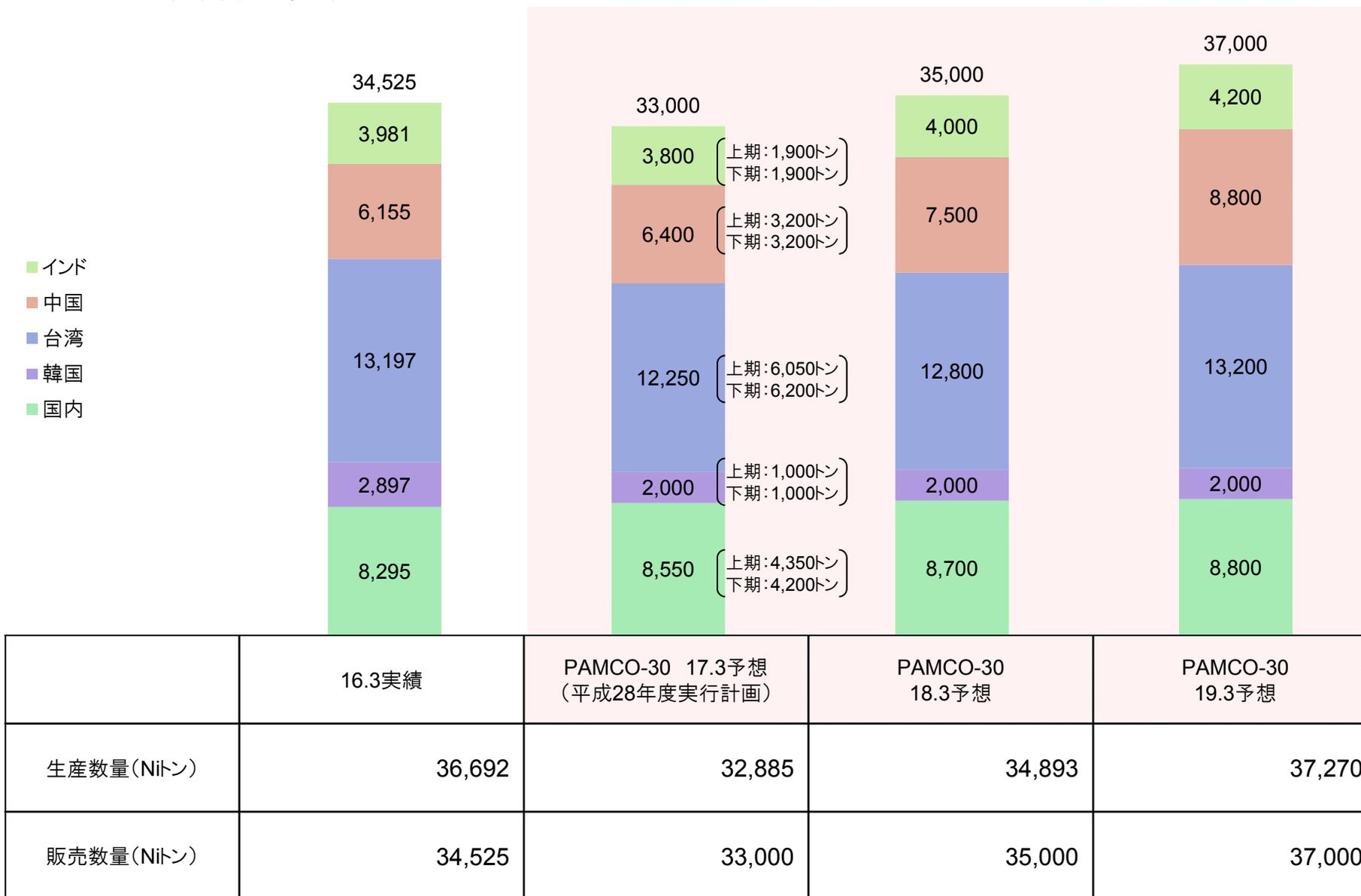
- ・従来よりはステンレス生産、ニッケル需給ともに成長ペースは緩やかになるものの、着実な成長を見込む
- ・ニッケル需給バランスは、2016年以降に逆転見込み

4. 概要

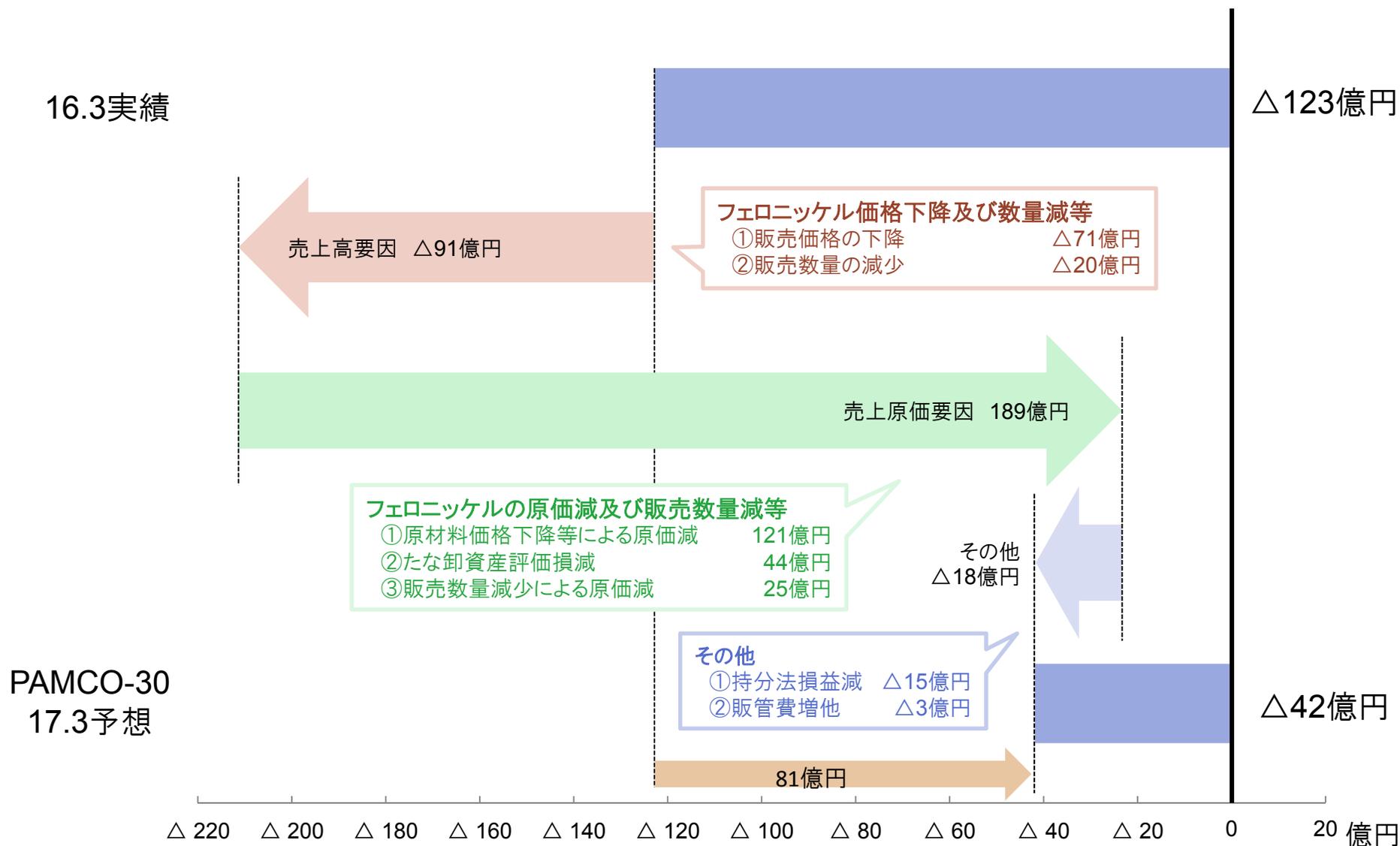


	16.3実績	PAMCO-30 17.3予想 (平成28年度実行計画)	PAMCO-30 18.3予想	PAMCO-30 19.3予想
適用LME(\$/トン) [適用LME](\$/lb.)	10,803 [4.90]	9,722 [4.41]	12,037 [5.46]	14,132 [6.41]
適用為替(¥/\$)	119.97	109.90	118.82	119.48
売上高(百万円)	47,649	37,525	52,065	65,607
営業利益(百万円)	△15,358	△5,792	△1,800	2,541
経常利益(百万円)	△12,284	△4,181	552	5,964
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	△38,370	△4,382	192	5,286
投資額(百万円)	1,086	920	1,997	2,712
減価償却額(百万円)	5,538	394	409	559

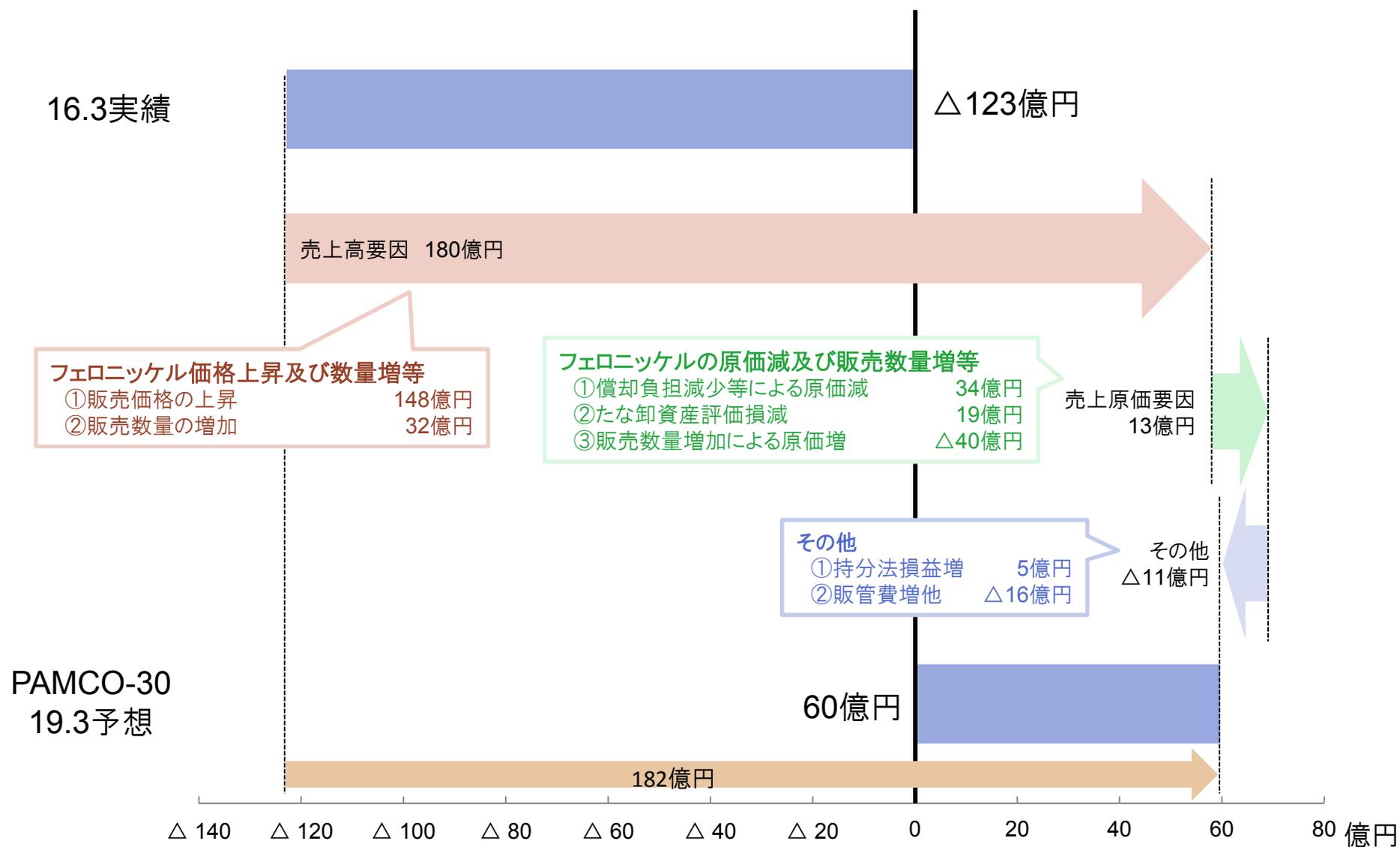
5. 生産・国別販売見通し



6. 経常損益分析 ①16.3実績と17.3予想の比較



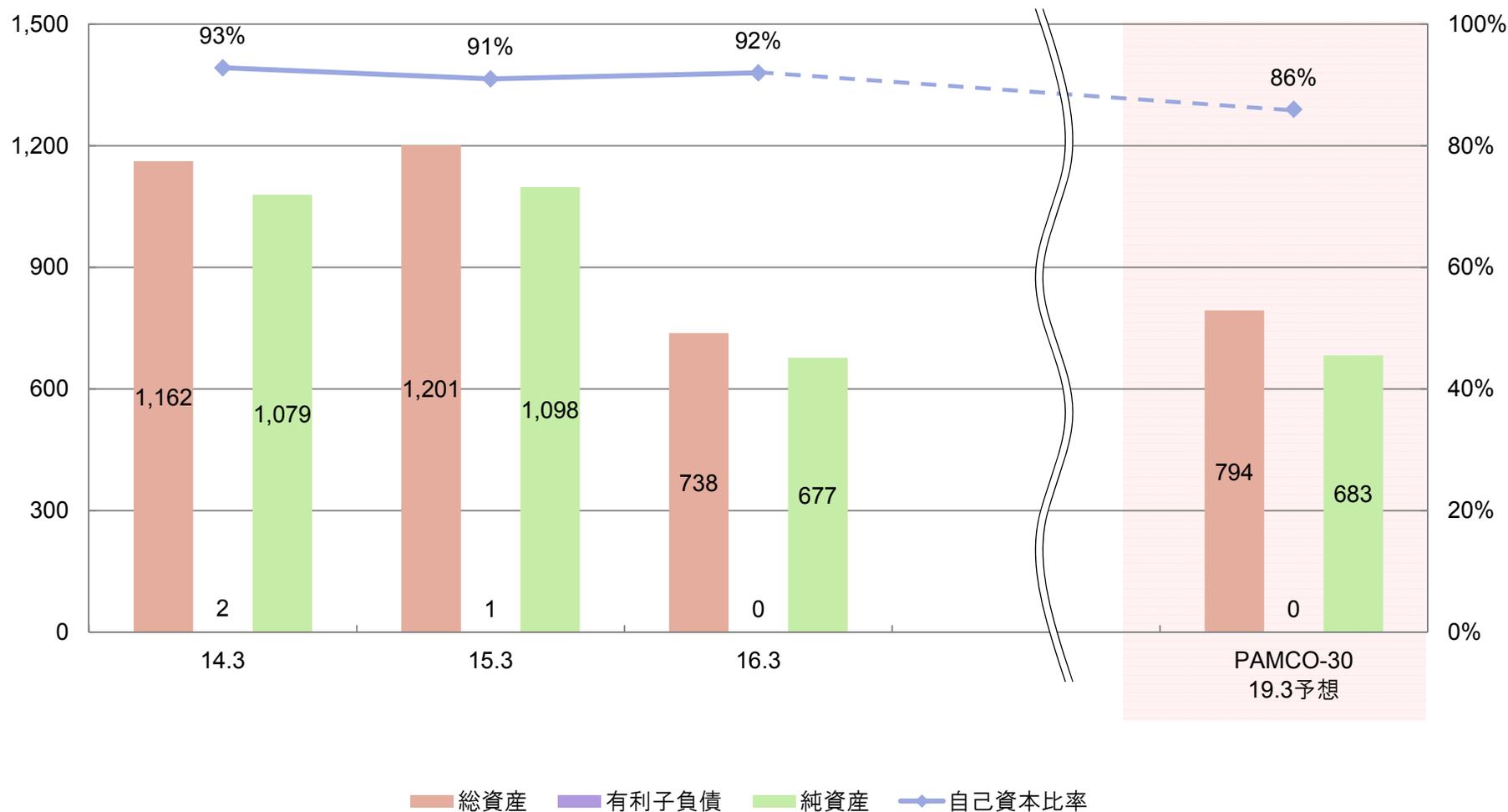
6. 経常損益分析 ②16.3実績と19.3予想の比較



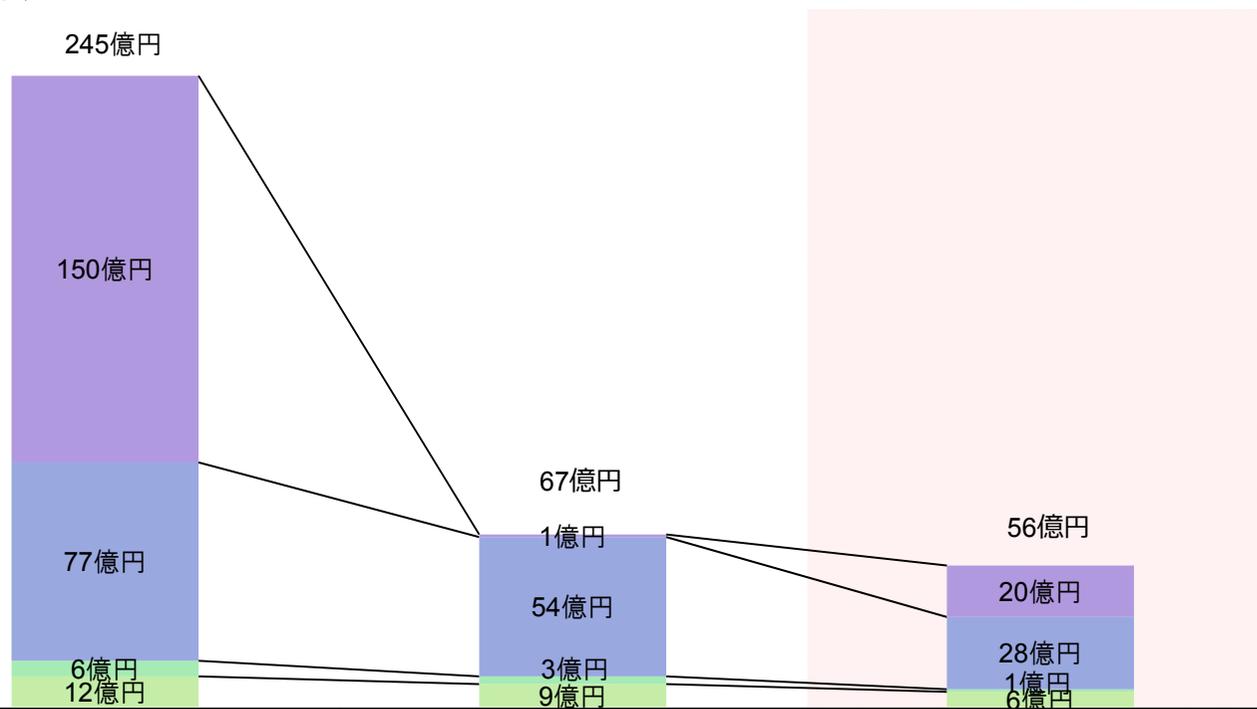
7. 財務体質見通し

金額(単位:億円)

比率



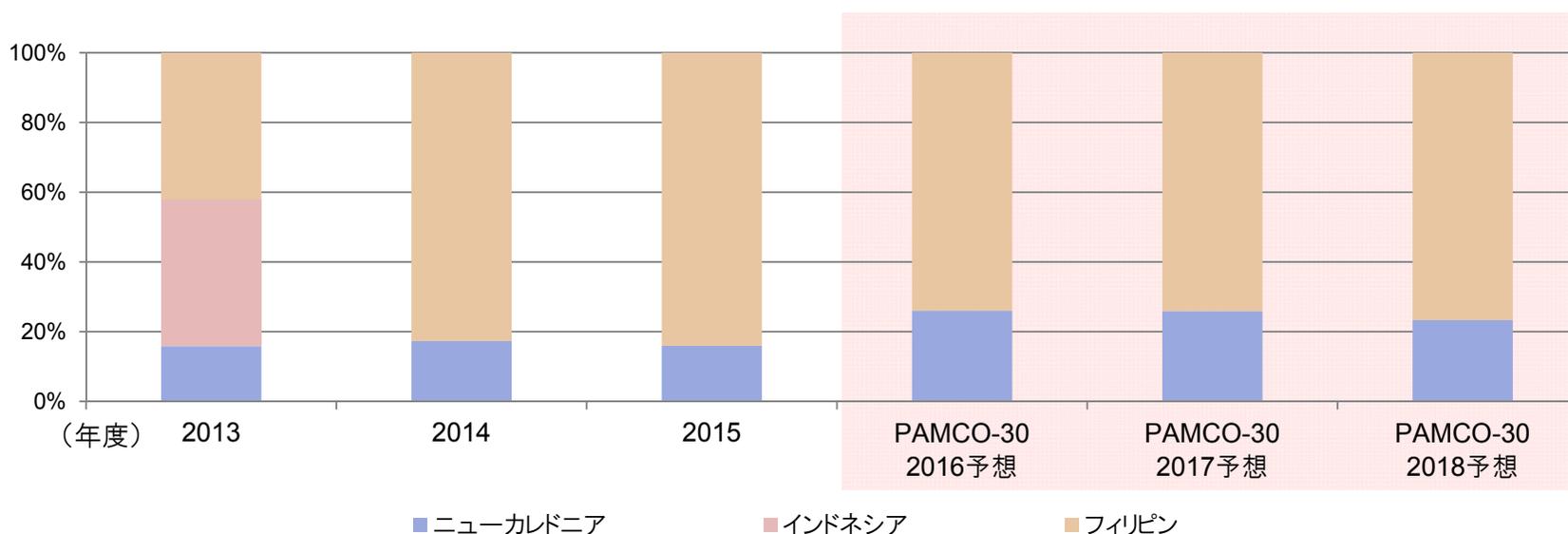
8. 投資計画(3カ年合計)



(単位:百万円)	PAMCO-27 3カ年計画	PAMCO-27 3カ年実績	PAMCO-30 予想
資源調達	14,990	62	2,025
維持更新投資	7,692	5,424	2,826
環境対策	622	262	132
労働安全衛生	1,194	947	645
合計(工事ベース)	24,498	6,694	5,627

9. 鉱石調達計画

購入先	16年 3月期	17年 3月期	18年 3月期	19年 3月期	20年 3月期
＜フィリピン＞ リオ・チバ・ニッケル社(36%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ タガニート社(33.5%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ カグジャナオ社	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜ニューカレドニア＞ モンタニア社	2016年4月～2026年3月(10年間)				
＜ニューカレドニア＞ MKM社	2014年1月～2023年12月(10年間)				






大平洋金属株式会社

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。